

思い詰まつた菓子贈る 伊達緑丘高がわかすぎ学園に

室蘭



ラッピングした菓子の箱を手渡す生徒たち

伊達市の伊達緑丘高校（須藤克志校長、214人）が21日、室蘭市母恋南町の児童養護施設わかすぎ学園（伊藤裕司総合施設長）に「伝承」「総括」をテーマに、生徒主体の校内活動、お菓子を寄贈した。

同校は閉校に向けた集大成として、「感謝」「創造」

グリーンプロジェクトを実施している。今回は図書局の生徒が中心となり、学校祭で行ったバザー、古本市と雑誌の付録市で得た益金を同学園に寄付することにし、売上金約5千円でお菓子を購入し、プレゼントした。

この日は図書局の2年、船岡ほのかさん、三浦愛加さん、田中星名さん、中島梨花さんの4人が、須藤校長とともに同学園を訪問。あめやせんべい、クッキー、ドーナツなど約10種類の菓子を四つの箱にラッピングし、伊藤総合施設長に手渡した。

船岡さんは「暑い中、熱中症に気を付けながらお菓子を食べて楽しんでほしい。来年もまた寄贈したい」と意欲を見せていた。

伊藤総合施設長は「いろんな種類を用意してくれてうれしい。応援してくれるその気持ちがありがたい」と感謝していた。

（佐々木愛梨）